

「青頭巾」と「吸血鬼」は似て非なるもの

野口武彦（神戸大学助教授） VS 多田智満子（詩人）



「花散里は葉式部の自己投影かもしれません」野口武彦さん

ますけれど、母の娘時代には小芝居という形で本郷とか神田界隈で沢山上演されてたらしい。今、玉三郎とか孝夫が主演する時にワキを固めるようなのが主役クラスで多田 実力のある人たちでしょ。

野口 そうそう。でも僕が子供の頃はそういう小芝居はほとんど滅んでいましたね。僕は初代中村吉右衛門はずいぶん親ましたが、残念ながら六代目尾上菊五郎は観てないんです。

多田 私が初めて観た歌舞伎は十五代目市村羽左衛門の『切られ与三』でした。蝙蝠安が菊五郎で、場で一杯やろう』というようなアドリブが入ったりして

多田 野口さんはいつ頃から歌舞伎に興味をおもちになりました？

野口 それは東京、下町育ちの母の影響なんです。今では、歌舞伎ってやたら大きくして上品で芸術的になってい

多田 野口さんはいつ頃から歌舞伎に興味をおもちになりました？

野口 それは東京、下町育ちの母の影響なんです。今では、歌舞伎ってやたら大きくして上品で芸術的になつてい

右衛門の『籠釣瓶』です。

多田 では、先代の松本幸四郎はご存知ですか。

野口 いや、残念ながら…。彼は確か吉右衛門より先に

亡くなっていますね。

多田 私が子供の頃は、羽左衛門、菊五郎、幸四郎、吉

右衛門の4人が歌舞伎界のトップスターでした。

野口 じゃあ僕の子供の頃と少し違うな。ところで『伊

勢首頭』で吉右衛門が福岡貢役、万野が先々々代の中村

時蔵、あれは上手かったな。吉右衛門の福岡貢を見てい

ると子供心にも羽織落なんか決ると、背筋に戦慄が走る

んですよ。でも同じ役を中村勘三郎がやるとどうもいけ

ない。

多田 勘三郎ってちょっと太ってますしね。

野口 でも、ああいうビリッとした役じゃなくて、例え

ば忠信なんかやらせると上手い。本当に狐になります

からね。あれを尾上松緑がやると、やっぱり人間だって

感じがしますね。

多田 そうですね。羽左衛門の場合はただ芝居が上手い



「ユルスナールは全く異質な源氏を描いていますね」多田智満子さん

上田秋成のものすごい怨念
野口 多田さんはフランスものを翻訳しておられますか。向うの現代詩などでお好きなものがござりますか。

だけじゃなく、人柄そのものに華やぎがあつて、彼が舞台に出てくるとあたりがパッと明かるくなるんですよ。

あれだけの花のある名優はちょっといませんね。

野口 そうだったんでしようね。その点、勘三郎には華がないな。最近評判の坂東玉三郎なんていかがですか。

多田 玉三郎は化け方が凄い。メークアップすると絶世

の美人になりますでしょ。これが中村歌右衛門だとS字型に体の線がうねついて妖しい魅力があります。

野口 最近玉三郎と片岡孝夫の『四谷怪談』をテレビで観たんですが、玉三郎はまだちょっと熟れてないで

ね。これが歌右衛門だとお岩役者としてぴったりなんで

すが、最近は少し衰えてきて、どうも薬飲まされる前から化けてる感じ。

多田 孝夫の方は舞台に出ると立派ですね。ドラマで見

た素顔は少し神経質そうな感じで線が細いんですけど。

野口 やはりテレビカメラだけと、大向うまで観客がいるのとでは全然違うと思いますね。

多田 私、玉三郎は体つきから言つて、西洋物が割と合うような気がします。この前の日生劇場での『王女メディア』は慣れてない感じで感心しませんでしたが。

野口 そうですか。でも確かに玉

三郎の日本物つて余り観る気がしませんね。夢が破れるんじゃない

かと思って。泉鏡花の芝居ぐらいならないですけれどね。

多田 私、玉三郎は体つきから言つて、西洋物が割と合うような気がします。この前の日生劇場での『王女メディア』は慣れてない感じで感心しませんでしたが。

野口 そうですか。でも確かに玉

三郎の日本物つて余り観る気がしませんね。夢が破れるんじゃない

かと思って。泉鏡花の芝居ぐらいならないですけれどね。



多田 やはり自分の訳したサン＝ジョン・ペルスという詩人には愛着がありますね。

野口 彼はシンボリズムの少し後の詩人ですね。

多田 いわゆる現代詩人。7年前に高齢で亡くなられました。

野口 コクトーと同時代でしようが、アバンギャルドとはちょっと違いますね。

多田 ええ。それに非常にスケールが大きいのです。しかしまあ、偉大な感じの詩人って日本人にはあまり受けません。日本人は外国の詩人でも割と小味な詩人や、少し退廃的な詩人、あるいはモダンでシュールの詩人とが好きで、スケールが大きくて思想的にも深い詩人を敬遠しがちです。

野口 例えればピクトル・ユゴーなんて、誰も詩人としてはみていません。

多田 偉大な詩人ですね。サン＝ジョン・ペルスだって、ノーベル文学賞を取るまでは日本人は誰も知らなかつた。今でもほとんど知られていませんけれど。しかし私が多少本を読み出すようになってから影響を受けたのはやはり日本の物ですね。子供の頃から謡曲に馴染んでいたせいもありまして、特に軍記物が好きでした。

「平家物語」とか「保元物語」とか。謡曲は声をはりあげて謡うので、いやでも丸暗記してしまつて。子供ですから難しいところは分らないんですけどね。

野口 そう。『百人一首』なんかも日本語の言い回しを無意識に吸収するのにいいんですが、物心つくと顔が赤

くなるようなことを子供の頃は平気で誤って覚えていたりしますよね。

多田 「古事記伝」なんて、伝記を書いてもらえるような偉い乞食がいたのかなと思つていたり(笑)。

野口 そうそう(笑)。それは本居宣長と非常に仲の悪かつた上田秋成が洒落でひつかけて悪口言つて大論争してゐる。秋成も国学者の一人なんですが、学殖の点では宣長に太刀打できなくて、いつもやられる。そんな恨みがつたって「偽りを言うてなりとも弟子ほしや古事記伝兵衛」と人はいふともって言つてやつづける。宣長は伊勢の人ですが、伊勢商人のことを当時伊勢乞食と卑しめて言つてた。それをひつかけて悪口を三十一文字にする位怨念があるから『雨月物語』なんて書けるんでしようね。

多田 秋成の作品では何が一番お好きですか。

野口 やはり『雨月物語』ですね。でも若い頃の『浮世草子』や『世間妾形氣』の中に光つた話が沢山あります。秋成って人は頭の中にそれこそ原画的イメージがあつてね。それがそれの作品の中に何度も無意識の底から浮かび上つてくるんです。

多田 その原画的イメージというのは、例えは具体的に言いますと。

野口 野原に松の木があつて、そこに雷が落ちてくだだけて、その先に一つ星が輝いている、というイメージです。それが繰り返し出てくる。『雨月物語』の『浅茅が宿』では主人公の勝四郎が7年もの間、妻を放つたらかにして京都へ行き、再び故郷へ戻つてくる。彼はその

時点では妻がどうなったか知らないんです。勿論読者もね。で、帰ってきた所っていうのが、ひどく荒れ果ててとても昔いた村とは思えない。しかし、何か主人公の記憶に残るものがある。それが松の木なんです。それは雷にうたれて形が變っているけれど、昔の村の風景を思い出させる。近くへ行ってみると、灯が一つきらめいて、そこに妻がいるんだけど既に死んでるっていうんです。その松の木のイメージっていうのは「浮世草子」の中でもチラッとでてくるし、晩年の作品「春雨物語」ではさすがに松はでてきませんが、「雨月物語」に出てくるのと同じ名前のヒロインが出てきたりしてそのイメージがしつこく再生産される。そういう点で秋成ってものすごく大きな存在ですね。

多田 私も秋成は大好きです。その「原画的」とか、あるいはユングが使っている「元型的」というような心理学用語は文学者にとっても便利な用語のようですね。

野口 文学者ってインチキなのかもしれませんね。例えば文化人類学者のつくったカテゴリーとか精神分析学のカテゴリーをより安易にさらってきて評論など書いてる。それなりの効果はあるんですが、それ以上つっこまれるとね。

多田 秋成の「青頭布」なんか、一種の屍體嗜好の物語ですけれど、美しい凄惨さがあつて、西洋の吸血鬼の話なんかとは較べものにならないくらい優れていると思します。

野口 比較文学では「青頭巾」とあちらの吸血鬼物語を

比較したりしますがね。この頃は文芸批評を書く場合でも、結局西洋人のつくったカテゴリー内なんですね。構造主義ゆすりの用語は私も良く使いますが、やっぱりどこかで肩透しを食わされる。日本文学を表層でなく、

もう少しつつこんでみようとしても結局接木になってしまふ。また批評の用語は日本語として体系性がなければならぬんですけど、我々の使っている批評用語の大部分は輸入物である。かといって本居宣長の歌論あたりの用語を持って来るわけにもいかない。更に中世にさかのぼって、俊成や定家辺りの歌学に当ると、例えばいきなり「幽玄」なんて出てくる。でも俊成も定家も「幽玄」がこういうものであると定義は与えていない。その代りにたとえをあげてる。しかし俊成が選んだ幽玄体の歌と定家の選んだのとは必ずしも一致しないし、いかなる基準でその歌が幽玄なのは一言も説明されない。感じでものを言うしかないんです。そこがアリストテレス以来の西洋の文芸学の伝統と違う。向うは厳密な定義を与えてからね。日本の場合はそれがないのが特色で。

多田 純然たる大和言葉では論理的な定義をしにくい、というわけでもないでしようけれど。

野口 ええ。しかし、国文学者って明治以来西洋の概念に飛びつくのが好きでしてね。それに日本で流行が早いです。実存主義が一世を風靡したかと思うと、たちまち構造主義って感じでついていけない。でも逆に、西洋文学育ちの作家や批評家って、皆、日本文学に回帰するんですよ。丸谷才一さんや大岡昇平さんなんてそうです



ね。

ユルスナールの「源氏物語」の世界

多田 私、マルグリット・ユルスナールの作品をいくつか訳しているんですが、彼女の『東方綺譚』の中に「源氏の君の最後の恋」という面白い短編があります。それは、年老いた源氏が引退して都から離れ、ほとんど目が見えなくなつてひつそりと住居をやつして、まんまと源氏のもとに住みついで彼の最期をみとります。死期が近づいた源氏は過去に愛した女を数えあけるのですが、花散里の名前だけがどうしても出でない。で、源氏が死んだあと、彼女は情なくて狂気のように頭をかきむしるーと、まあそんな風に終りますが、表現がいかにもヨーロッパ的なんですよ。日本物を西洋人が扱うと、やはり輪郭がはつきりでできますし感情も鋭角的に表現されますね。

野口 さすが西洋人ですね。ところで『源氏物語』には色々と穴があつてね、普通は桐壇から始まって帯木、空蝉、夕顔、若紫、未摘花……という順序で読むんですが、そうするといろんな矛盾がでてくるんですよ。例えば読者にとって初めての事柄があたかも2度3度でてきた事柄のよう書かれているんです。これは作者の技巧であるのか、あるいは散逸してしまった巻が他にあるのか分らないんです。「源氏学」っていう言葉があるんで



歌舞伎、秋成、源氏を巡って対話はつづく……。

ですが、平安末期頃からいろいろな人が『源氏物語』の続篇を試みたりしている。本居宣長なんかもそれで小説書いてますよ。それから雲隠の巻っていうのは巻の名前だけしかないし。

多田 そのユルスナールの『源氏の君』は『源氏物語』の「書かれざる一章」である雲隠の巻を虚構したものだと断つてあるのですが、今言いました通り、源氏とは全く異質のものができあがっています。

野口 ええ。第一に引退した源氏が一人でひつそり隠棲するわけがない。作者の時代からいってそれは無理でしようね。まだあの頃は藤原道長が生きていましたから、光源氏といえども、死ぬ時は仏様と糸を結びつけて……を感じになるはずです。第二に花散里のキャラクタリゼーションですが、彼女はあんなことする女性じゃないですよ。

多田 私もそれはおかしいと思いました。きっと花散里は名前を借りただけで、新しくユルスナールがああいう女性を創造したんでしようね。

野口 しかし花散里といるのはかなり高貴な身分でね、『源氏学』においては謎の女性なんですよ。源氏がいつもおさまってるんですね。人によつては、紫式部が自分投影してんじやないかという説もあるんです。自分の分身を無理矢理主役クラスの彼女におしこんだというのは充分考えられることですね。

△六甲・ブルーマウンテンにて▽

市内有名書店にて
好評発売中

ハンディタイプA5判変形
全108頁
定価250円
送料200円
郵便振替 神戸1-1411



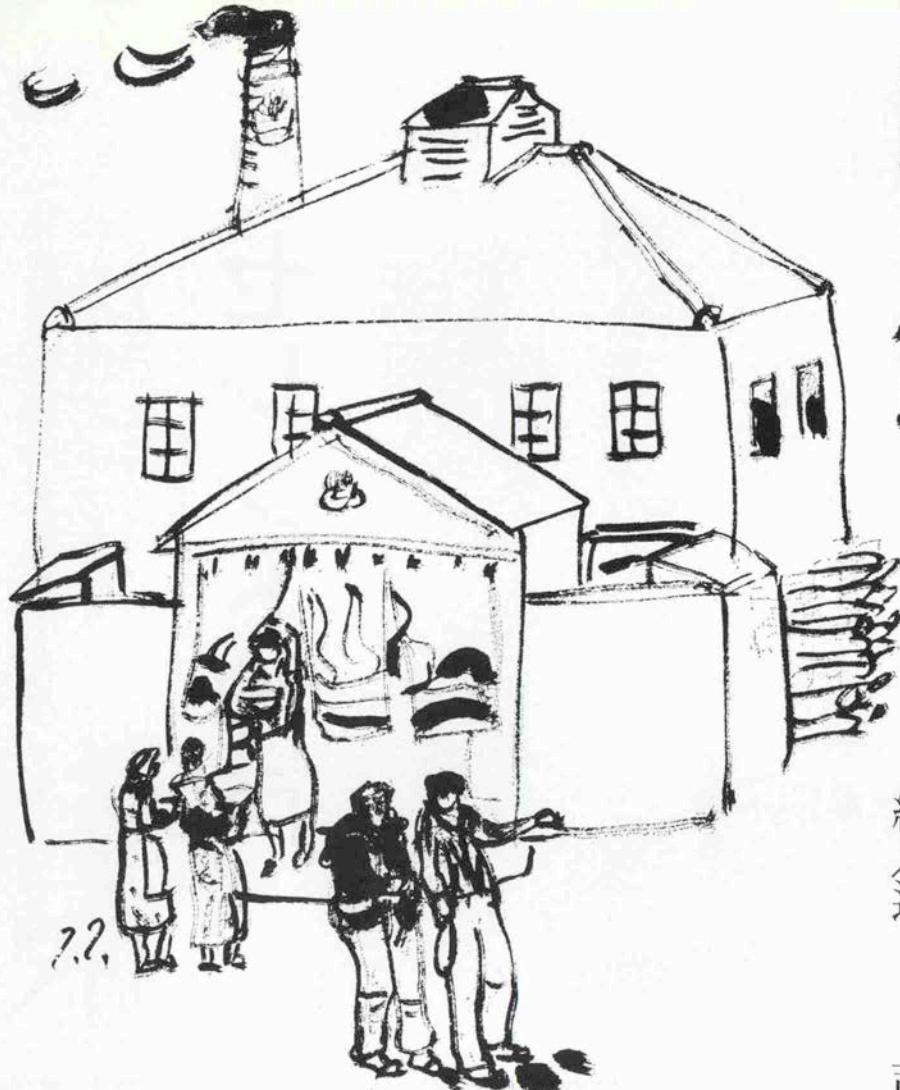
東西の文化の光が織りなすエキゾチックな港町が神戸です。その神戸のエスプリともいえる選びぬかれたエクセレントショップが350店、宝石のように散りばめられたのが「エクセレント神戸」です。神戸を訪れる人にわかりやすく、もつと手軽に、そしてもつと美しく、と「エクセレント神戸」をユニークな手帳に仕上げました。各店の今のお情報が満載されたこの本で、あなたも即、神戸通に。

350
EXCELENT
K.O.B.E

お問い合わせ、お申し込みは 〒650 神戸市中央区江戸町100高砂ビル5F コミュニティサービス ☎078・392・0200

霧の朝

福岡勝利
絵／辻



道路は混んでいた。バスの中も、ほぼ満員である。午後五時ごろだった。段ボール箱を足のあいだに置いて、

ぼくは立っている。箱には、掃除機の絵。かるーいニュータイプ、とある。箱の中身は、掃除機ではなくて、一

匹の小犬である。

順子からもられた小犬だ。今日、順子はこれを生ごみ専用のごみ捨て場で見つけたのだそうだ。かわいいよお、と順子は一時間前の電話で言つた。「ほんまにかわいいんやから。箱のすみでね、かわいい声で泣いてたんやもん」「はあ、そうですか」「でも、うちでは飼われへんねん。団地やる。犬はあかんねん。それで、あんたとこで、どうやろかなあと思つて」「ぼくとこで飼うんですか」「いいやない。あんたとこ平屋やし。犬飼うても問題ないやん」「……」「犬、きらい」「いえ、そんなことないですよ」「そんなら、うちの人が」「それはないと思うけど」「じやあたのむわ。それで、えーと、京橋の名画座の前に来れるかな」「は」「今から十五分くらいで来れるでしよう」「まあバスが運よく来ればね。それにしてもなんだなあ、どうなつても知らんぜ」「あなた、真面目だから信用してます」「食べてしまはかも」「ほっほっほっ」

そうして、ぼくは京橋に行つたのだ。近鉄バスは名画座のちょうど前でとまる。ぼくは京橋の商店街の裏通りにちよつと入つた。お酒の自動販売機の前を行つた。そして、カップ酒をひとつ買つて、くつと飲んだ。のどがかわいていたのだ。小走りで、名画座の前にもどつた。二、三分して、順子はホンダバイクのゴリラに乗つてやつてきた。バイクに乗つた順子をこんな間近で見るのははじめてだつた。順子は、会社へはバス通勤だが、遅刻しそうなときはバイクを使う。ぼくは遠くから見たことがあつた。白のジャンプスーツを着て、胸をはつて、なかなか格好のいいものに見えた。ヘルメットをかぶらないから、長髪がみだれ放題で、頭から火炎が吹き出しているようだつた。

こうして近くで見ると、また迫力が増す。レザースーツは大きすぎるのかシワシワで、怪獣のぬいぐるみみたいだ。フルフェイスのヘルメットも大きい。順子が頭でつかの宇宙人のように見える。それにしても、町なか

でレザースーツなんて。こんな格好で走つてたら野郎どもにそうとう悪さされるんではないかと思う。

ヘッドライトの上に箱をくくりつけていた。じやあ、かわいがつてね、と順子はその箱をぼくに持たせた。食パンを小さくちぎつて、それをミルクの中にまぜてやつたらよく食うよ、と順子は言つた。

書きおくれたが、順子は犬や猫に興味を持つてゐる。興味というのかどうか、絵に描きたくなるほどの関心があるのだ。倉庫のおっさんらや営業マンから聞いた話だが、順子の腕前は玄人並みであるらしい。労美展とかいふのんに出了したやつが売れたというのだ。その絵は自分のアパートの部屋を描いたものだそうだ。室内はごくあたりふれた家具がならんでおり、窓の外もどうということのない町の風景がひろがつてゐる。猫が画面のすみこの方で、窓わくに前足をかけて、のびあがつて外を見てゐる。そんな絵らしい。猫は真っ黒で、その猫だけが絵全体から変に浮き上がつてゐた、と営業マンの誰かが言つてゐた。

さて話はもどつて……順子の息遣いは激しかつた。ランニングしてきたみたいだつた。ヘルメットを取らないし、まわりの騒音もあつて、順子の声が聞き取りにくい。ぼくは順子の顔に自分の顔を近づけた。ヘルメットは目のところだけくりぬいてある。その目がじいっとぼくを見た。

「顔色がよくない。蒼い」順子は言つた。
「しつかりしいや。じきに、はげるよ」
「そお」
「心配ごとでもあんの」
「別に」

「今晩、踊りに行くんやけど、あんたも行かへん」
「踊りですか」
順子はぼくのせまい額を、軽く小突いた。

めんどくさいなあと思つた。それに今さら、ディスコで汗を流すなんて恥ずかしい気持ちがする。順子はまだ

あんなものに行きたいのか。それに、ひとりで行くんじゃないだろう。そうすると、どうせ、ぼくはのけ者になつちまう。いじめられ役。物笑いの種。そういうのになつたのがオチだ。

「無理せんでいいのよ」順子はちょっと笑つた。「でも、あんた、なんで、いつもそうなんやの」

「え、何がですか」

「なんかこう、顔をまともに見せられんというか。いつも下向いてさあ。もっと上向きいや」

「はい」

「まだ二十一やろう。一年前とくらべたら、えらいおじんくさくなつたよ」

「おじん……」

「じやあね。おやすみ」

犬は「そそそ」動いてる。箱が破れはせんかとひやひやする。わめかんでくれよ、お漏らしなんかするなよ、とこ気が気でない。

ところで、ぼくの母はこの犬を見てなんと言つたろう。やつぱり、捨ててこい、と怒り出すだろうか。うちでも一匹くらい犬を飼つてみてもいいな、と母は最近言つたことがあるのだが。忘れちまつたかな。父と正夫は、いや、あいつらのことはどうでもいいのだが、たぶん犬なんて無視するだろう。ぼくも本当は無視したいのだが。箱を破つて、バスの中をあばれまわつて、外にとび出して、いっつくれたら、いちばんいいのだが。そしたら、順子に、こういうわけで逃げました、とはつきり言つてやる。本当のことだから、ぼくは動搖しない。いかんのは、わざわざどこかに捨てに行くことだ。そんなこと、ようしないぞ。それに、逃げました、と言つても、順子はすぐぼくの嘘を見抜いちまうだろう。そして、軽蔑されてしまう。順子からばかにされるなんてたまらない。順子とはだめだ、親しくなれやしないと自分に言いきかせておつても、やはりまだ惹かれているのだ。順子の、なん

というか、とらえがたいところ、破天荒なことをやりそうな雰囲気が、ぼくは滅法好きなのだ。さて、なんかい方法はないものか。この犬をどう始末するか。

何ごともなく、ぼくはバスを降りた。犬はすこしも吠えなかつた。クウンクウンと哀れつぽい声も出さない。生まれがよかつたのか、それとも我慢強いのか、ともかく、なかなか賢い犬なんだと思った。

うちではまだ真つ暗だつた。

ぼくは箪笥の上から、テレビを入れる大きなダンボール箱を下ろした。それを玄関の土間に置き、犬をその中に入れた。扇風機の箱は道路に放り出した。

残りものの、體えたような御飯があつたから、それを皿に盛り、ちりめんじやこをかけて、箱の中に置いた。犬は御飯に食いついた。歯をむき出しにする、猛烈な勢いの食べっぷりだつた。さつきまでのおとなしさとは打つて変わって、ただ、すさまじかつた。おそらくなるほどだ。野良犬から急に荒々しい野獸に変身したみたいだつた。

とつぜん、犬はひっくり返つた。前足で口を引っ搔く真似をする。歯茎にくついた飯粒を取ろうとしているのだ。ガツハガツハと苦しそうに息をする。目はどこを見ているのか、ぼくと視線を合わさないようにしてるみたいだ。

さつと起き上がる。水浴びをしたあとみたいに、からだをブルブルンとふるわせる。あごを箱の底におしつけて、前足で顔をなでおろす。どうしたって、飯粒はそれやしない。まったく犬のからだなんて不便なものだ、となんとはなしに思つた。犬はまたひっくり返る。足をじたばたさせる。フガフガと声を出す。そして起き上がり、ブルブルン。そんなことをくり返した。箱の中は、飯粒とちりめんじやこが散乱して、きたなくなつてしまつた。

水の入つた茶碗を箱のすみに置いた。さて風呂に行こうか、と思った。いつまでもながめて飽きないほど、大

好きではなかつたし、はつきり言うと、ぼくは犬がきらいだつた。犬というと、小さいころは、追いかけられてばかりいたものだ。

石を投げつけたり、交尾中のところを棒でつづつたりするから追いかけられるのだが、ぼくは何度でもしつこやつた。よその子は友達どうしでブランコとか砂遊びなんかしてゐるのに、ぼくだけはわき目もふらずに全速力で走りまわつた。そしてついに、当然というか、くるまに轢かれてしまつた。小学校に入る前のことだが、例によつてちょっとかいを出し、犬に追いかけられて、広い道路にとび出してしまつたのだ。足の上をタイヤが通つていった。そのとき、くるまつてあんがい軽いものだなあ、と思った。びっこをひきながら帰ると、母が、病院に行かなあかんと大騒ぎしたが、ぼくは、いや、いや、どこねまくつて、医者には診せなかつた。ぼくを轢いた運転者はどないなつたのか知らない。びっこがなおつたころ、ぼくはわざと、とまつてくるまのタイヤの前に足を置いてみた。くるまに轢かれるスリルというか緊張感というか、そういうのをもう一遍味わいたかったのだ。

くるまなんかなんともないとタカをくくつてもいた。ぼくに気づかなかつたのか、ゆつくり、くるまは発進した。あのときは、しみじみと痛かった。足がペしやんこになるんじやなかろうか、と思つた。こんなことはよそうとすぐ思つた。そして犬を恨んだ。足がむやみに痛いのを犬のせいにした。このときから犬に追いかけられるのはすくなくなつたよう思うが。……ともかく、犬にはいい印象を持つていいのだ。夢にも、犬があらわれる。いつも、なぜだか知らんが、怒り狂つた形相で追いかけてくるのだった。本当にこわい夢だ。あぶら汗をかいてとび起きる。うわっと叫んでしまうこともある。最近ようやく見なくなつたけれども。

犬はほうつておく。ぼくはとなり町の銭湯に行つた。歩いて十分ほどだ。ダイコク温泉という。

いつものように、からだを洗わずに、湯船に入つた。



7.9.

すわって足をのばす。向かい側の人も足をのばせば、湯船の真ん中で足がまじわる。湯船も洗い場もせまいのだ。おとな十人で超満員になる。そろそろ混みはじめる時間だった。

よつ、と頭をたたかれた。なんだ馴れ馴れしい、また人違いとちやうか、と思いつながら顔を上げた。井上だった。ああどうも、とぼくは言つた。いつもここに来るのか、と井上はきいた。ええ来ますよ、とぼくはこたえた。それにしちやはじめて会うな、と井上はぼくの横にすわりながら言つた。

風呂の帰り、肉だんごとぎょうざを食べた。井上のおごりである。井上はそのうえにビールを四本飲んだ。笑い上戸なのか、しようもないことでげらげら笑い、このだんこはからいからい、と大声を上げたりした。

井上は営業マンである。十九歳。会社のすぐ近所のアパートに住んでいる。会社が借りてた部屋だ。ぼくはその部屋に行つたことがある。井上に貸した八ミリ映画年鑑がなかなかもどつてこないから、直接取りに行つたのだ。二つの二段ベッド。大きな冷蔵庫。玄関から上がり口にかけての大量のごみ。散乱するマンガ雑誌二本。野郎が四人も六畳一間に詰め込まれていてるので、とにかく乱雑で、くさくて、きたなかつた。ほこりの玉や毛のからまつたやつがころころしていた。冷蔵庫にはどうせビールしかないのだろう。そういうところで寝起きしてると、帰りたくなるのだろうか。井上はよく外泊するらしい。そんな話はいつも耳にするし、本人も自慢話のように倉庫のおっさんらにしゃべる。大学を出てての保母さんと飲みに行つて、今までこんな楽しい晩をすごしたことなかつたって感謝された、と言ひふらすようなやつである。営業の成績はいいし、わりに男前だし、見目は清潔そうだし、派手好きで、誰とでも気軽に話しかけていく。たいていの女なら、誘われればあつさり、よろこんでくつづいていくんじやなからうか。ぼくにと

つちや、井上はいちばんきらいなタイプだ。ひよつとすると、順子も一度はこいつに手籠めにされてるんじやないか。そんなふうに思えるふしがある。まあそんなことはどうでもいいが。そう言えば、さつき、湯船の中で、今日順子から犬をもらいましてねえ、と得意気に話しかけると、井上は低い声で、あいつには気をつけろよ、と言つた。何かあるんですか、ときくと、順子はやくざの親玉とかかわりがあると言う。二号さんみたいなもんだ、と井上は言つた。そんなあほな、とぼくは笑つてすませたが……。

ラーメン屋の前で別れるとき、井上は、これからストリップに行けへんか、と言つた。

「こんどにしましよう」

「よおし、約束したぞ」井上はにやにやしながら言つた。「おおそりや、大は大切に育ててやれよ。死なせたりしたらおおごとやぞ。ま、がんばれな」

ぼくは急ぎ足で、うちにもどつた。長屋の前の道路

に、テレビの箱が放り出されていた。うちに入ると、母

がだあつとぼくの前に立つた。血相を変えていた。

にいちやんか、あんなことしたの、と叫んだ。ああ、とびくびくしながらこたえると、何考えどんねんばかたれが、と怒声がとんだ。犬にめしなんかやりやがつて。誰のめしや思てんねん。ちりめんじやこまで使うてしまいやがつて。どうしようもない役たたず。いらんことばつかりしくさつて。あほんだら。犬のなめた茶碗はこんどからお前に使わすからな。くそつて使われんやんか……。

外に聞こえるからもつと静かに、と言つてもとまらなこの日は、寝るときまで、さんざん母からどなられた。父は人をなめきつたようすら笑いをぼくに向かた。

何かおかしいことでもあるのか、とぼくは父の馬面に言いたかった。正夫はまったくの無関心をよそおつて、テレビを見ていた。

京料理 わらびの里

谷崎文学の粹

「細雪」の芦屋

悠然とかまえる
郊外地。

打出小槌町と

縁起のいい処へ
を。

一階は

お座敷とお茶席

二階は

ステンドグラスの

お部屋

古都の四季を彩る
ゆかしい懷石の味
をぜひお楽しみ下
さいませ。



秋の味覚〈占地土佐漬・先付・鰐平造り・焚合せ・かます柚庵漬・土瓶蒸し・酢物〉

松花堂／3,500円、京懐石／5,000円・8,000円、おまかせ／1万円より

京料理

芦屋店

わらびの里

芦屋市打出小槌町30番地 (0797) 23・5666 営業時間午前11時～午後10時 <駐車場有り>

京都本店・京都市山科区小山中島町28番地 (075) 591・0911

新宿店・東京都新宿区西新宿2の4の1 新宿NSビル1F (03) 349・8789



健康、微笑んでます！

ジャパン・レディス・ボウリング クラブ(JLBC)のみなさん



グランド六甲ボウリングパックのご案内

- 忘年会、懇親会、歓送迎会、グループの集いに、職場のコミュニケーションに、みんなで楽しめるボウリングパックはいかがでしょうか。
- ボウリングパック（3ゲーム十貸靴十予約料十お食事）いろいろなコースをご用意いたしております。お気軽にご利用いただけるご予算にあったコースをお選びください。
- お迎えバス、賞品等についてもお気軽にご相談ください。
- 年中無休 営業時間 9:00～24:00(日、祝祭日 7:00より)



AMF100L

国鉄六甲道駅南へ3分、国道2号線沿
灘区友田町5-2-3 ☎078(841)3151代
駐車場完備(180台収容)



マイクロバスでのお迎え（20名様以上）
賞品の手配等もさせていただきます。



神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
中央区旗塚通7-1 ☎ 231-6300 トアロード店 ☎ 391-2538
兵庫駅前店 ☎ 575-5306 住吉店 ☎ 453-3737

北海道郷土料理 蝦夷
中央区中山手通1-4-13 東門筋東門会館ビル1階 ☎ 331-7770

和食くれない
三宮生田新道浜側中央K.C.Bビル2F ☎ 331-0494

亭布引大しま
中央区旗内町4-8-19 ☎ 221-1945

たこ焼たちばな
三宮センター街(旧柳筋) ☎ 331-0572

民芸御食事処
炭焼ステーキ 五
元町3丁目山側 ☎ 391-3156

本格派日本料理 割烹吉本
中央区中山手通2-3-20(生田警察署西口前) ☎ 331-5817-392-2020

山菜料理 六
国鉄三宮駅山側 ☎ 231-0406

秋風焼鳥トロリードリ
中央区下山手通2-12-21生田ソシアルビル ☎ 391-3028

手打うどん 木曾
フワーロード市役所前KEビルB.F. ☎ 231-1295

鮓
花
中央区二宮町3-10-16 ☎ 222-2323

どじょう 吾
中央区元町通2-7-20 ☎ 321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ 三十三間堂
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

割烹京銀
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

甘党 とん
和風らーめん ばさら茶屋
阪急三宮西口山側レインボープラザ1F ☎ 321-6363

★各国料理
レストラン グリルアコ
中央区生田町1-4-20 ☎ 242-2020代

レストラン 鹿皮〈あらかわ〉
中央区中山手通2-15-8 ☎ 221-8547-231-3315

ステーキハウス グリル青山
中央区下山手通2-14-5(トアロード) ☎ 391-4858
スカンディナビア料理 と世界の民族の店
中央区山本通3-1-2 両教寺院前 ☎ 242-0131

佛蘭西料理 果林
神戸プラザホテル2F(元町駅南) ☎ 331-4558
すていかハウス 長崎
神戸市中央区布引町2-3-16 ☎ 221-1086

メキシコ小料理亭 ティフアナ
中央区中山手通1-21-13 パールコーポラスビル1F ☎ 242-0043

ピザ・パブ ピザ・パオ
中央区元町通1-10-4(元町1番街) ☎ 331-9380

フランス料理 ピストロドウリヨン
中央区山本通2-13-6 ☎ 221-2727

レストラン 麻布キャンディ
中央区北野町4-1-12 異人館俱楽部 ☎ 222-5380

maison de la mode
花屋敷
三宮フラワーロード市役所前 ☎ 251-2109

ボリネシア料理 フィッシュヤーマンズポート
神戸港第4突堤ポートターミナル ☎ 331-0301

レストラン フック東店
中央区栄町通1-2-14 ☎ 321-3207

SELF-SERVICE CAFETERIA
Beer House
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 月
三宮・生田新道 ☎ 331-2509

喫茶・レストラン カフェパウリスタ
三宮・トアロード(パクリスタビルB1) ☎ 391-0061

ステーキハウス れんが亭
中央区下山手通2-5-5 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK 六
中央区元町通3-8-4 ☎ 331-2108

レストラン フック神戸店
中央区栄町通2-9-11 ☎ 321-3453

ステーキ＆ドリンクス 神戸館
中央区下山手通2-2-9 アマツビル1F ☎ 321-2955

サンバル料理 コバカラーナ
中央区中山手通2-1-13 ☎ 332-6694-6697

ドツレスタンハイデルベルク
中央区山本通2-8-15 ローズガーデン2F ☎ 222-1424

シルクロード料理 ぶはら
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎ 331-1734

The ghill BOB(ボブ) トアロード山側
中央区北長狭通3-1-2 フーストバブ2F ☎ 392-2500

さより貴工房
但馬の魚のや
和 黒(わっこく)
中央区中山手通1-24-1 ヒルサイドテラス1F ☎ 222-0678

炭やきステーキ 凱旋門
中央区下山手通2-10-4 新道ビル1F ☎ 392-3655

スコッチャ&ガスライト
ロードスピーフ
神戸ワシントンホテル9F ☎ 331-6111

フレンチ料理 エル・パンチョ キタノ
中央区北野町3-2-4 アニルド・マンション1F ☎ 241-1344

中国料理 萬壽殿
中央区中山手2-20-4 ☎ 231-4531

フランス料理 ルー・サロメ
中央区中山手通2-3-7 第2穴門亭ビル1F ☎ 392-1251

北イタリア料理 ベルゲン
中央区山本通2-3-2 ☎ 241-6952

炭焼ステーキ 水
中山手通1-32-5ペンシルビル1F ☎ 241-7500

炭火焼肉 キムズギャラリー
中央区中山手通2-3-19 ロータリーマンション中山手1F ☎ 332-2900

ステーキハウス 伊藤
中央区御幸通7-1-20大信ビル8F ☎ 232-3031

レストラン GOONIY(炭焼ステーキ)
中央区北長狭通3丁目 ☎ 321-3540

炭焼ステーキ GOONIY KITANO(北野)
フランス料理
中央区北野町4丁目 ☎ 242-2562

★喫茶
喫茶ガーデニア
中央区東町113-1 大神ビル1F ☎ 321-5114

喫茶 カフェ・ド・ガーデニア
中央区三宮町3-8 大和ビル ☎ 392-4004

LE CAFE ガ
中央区山本通2-3-14 ☎ 242-7144

宮水のコーヒー にしむら珈琲店
中山手店、中央区中山手通1-26-3 ☎ 221-1872-231-9524

三宮店・国鉄三宮駅山側 ☎ 241-2777
センター街店・中央区三宮町10-27 ☎ 391-0669

北野店・山本通2-1-20 ☎ 242-2467
(会員制) 3F事務所 ☎ 242-1880

ピアノホール バックステージ
中央区三宮町1サンプラザ10Fサンロイヤル ☎ 332-0230

珈琲モーツアルト
中央区山本通2-6-11 グランドマンション1F ☎ 241-3961

サンドイッチハウス ココアココ
中央区加納町4-7-11 ☎ 392-4031

珈琲
中央区三宮町2-9-6(トアロード) ☎ 391-1589

喫茶館 英
神戸国際会館浜側 ☎ 251-4562

喫茶館 葡
三宮センター街3丁目 ☎ 391-9006

喫茶館 仏蘭西屋
三宮・フワーロード(神戸市役所前) ☎ 232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木
三宮・フワーロード(神戸市役所前) ☎ 251-3231

珈琲 デューク・エウリントン
バブリストラン
中央区北長狭通2-6-6(トアロード) ☎ 332-1125

ウィーン菓子 モーツアルト神戸
中央区布引町2 メゾンロージエ1F ☎ 242-3001

姉妹店 モーツアルト三宮 神戸国際会館浜側 ☎ 251-3616

茶房ナイル
中央区下山手通6丁目2-7 ☎ 341-7376

喫茶モンブラン
フランワード市役所前KEビル1F ☎ 231-3605

ドライワード・コーヒーブティック
中央区北野町4-9-14 ☎ 222-3200

コーヒーカフェ・ド・パリ
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス
中央区北野町2-8 ☎ 222-3535

喫茶チヤロ
中央区中山手通1-24-10 ☎ 241-5470

コーヒーラウンジ City of City
中央区三宮町3-9-1 ☎ 331-1117

ティースナック 工場
中央区元町通3-8-8(浜側) ☎ 331-3694

★CLUB
club 飛
中央区中山手通1-2-6 ☎ 331-7627

club 小
中央区東門筋中島ビル3F ☎ 391-0638-4386

Member's Lounge 異人
中央区北野町2-9-22(三本松不動北) ☎ 222-2001

club さ
中央区下山手通2-17-13 ☎ 331-7120

クラブ 千
中央区下山手通2-12-6 ☎ 391-1077

club なぎさ
中央区北長狭通2-11-2 ☎ 331-8626

クラブ ふらん
中央区中山手通1-3-1 ☎ 331-2854

club Moon Light
Club ☎ 331-0157 BAR ☎ 331-0886-391-2696

club コトブキ
中央区三宮本通り ☎ 331-1875

★STAND&SNACK
レストランBAR 薔薇屋
中央区北長狭通5-5-22 ☎ 351-4311

サロンドアルバトロス
中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

ブチシャンソン
音楽の家
中央区三宮町3-8-12 スカイアーバル3F

神戸アーロード三宮センター街西入口 ☎ 332-1755

Theater pub トム・キャンティ
中央区下山手通2-8-2 神戸ワシントンホテル1F ☎ 331-2122

サウンドイン キヤンデー
中央区北長狭通1-21-15 ニューアンカビル3F ☎ 392-3606

スタンドグラムール
生田筋岸ビル地階 ☎ 331-4637

サロング神戸時代
中央区中山手通1-23-10 モンシャトウコトブキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ サヴォイ
高架山側 テキの店北 ☎ 331-2615

LOUNGE コリナドロ
中央区中山手通1-22-13 ヒルサイドテラス1F ☎ 222-5470

ミュージック・ラウンジ サントノーレ
トアロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎ 391-3822
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ6F ☎ 221-3886

スタンド千
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル1F ☎ 331-4730

スナックでつさん
中央区北長狭通1-5-12 ☎ 331-6778

STANDマシユケナダ
中央区中山手通1-4-6 ユーベルビル4F ☎ 331-5587

メンバーズモンテカルロ
中央区中山手通1-7-6 ニュー友蔵ビル1F ☎ 391-0081

シャングリラ 中山手通1マリンビル1F ☎ 391-8941
グランプリ 中山手通1ニュー友蔵ビル1F ☎ 391-4406

WINE & RESTAURANT 酒夢猫
中央区中山手通1-13-14 神戸酒販ビル2F ☎ 332-3308

末広光夫のティアニア
ミュージックサロン
中央区中山手通1-21-13 ☎ 241-1771

珍地理屋
中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288

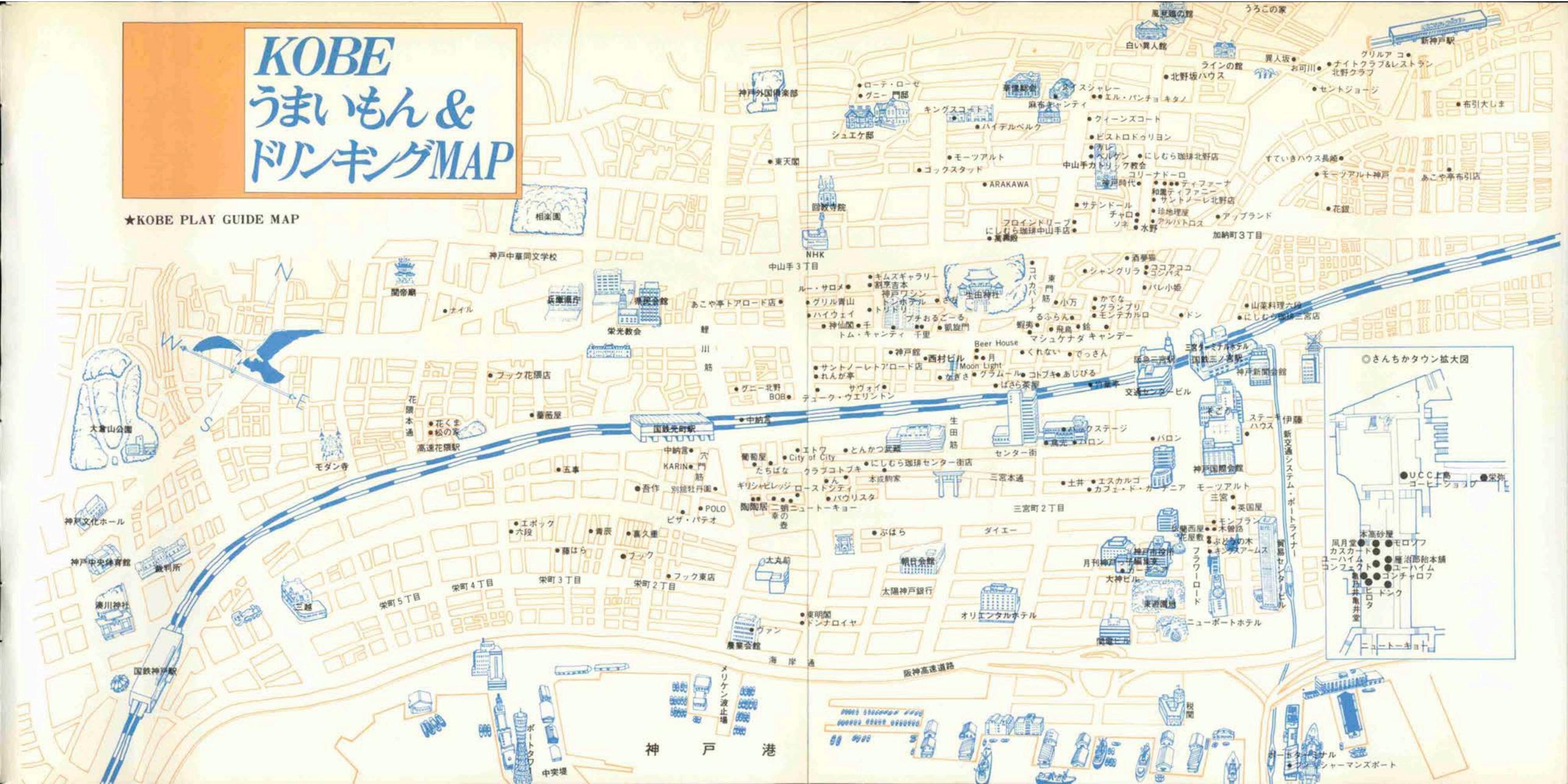
S N A C K プチおるごーる
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル2F ☎ 332-2680

レジャービル 西村ビル
中央区北長狭通2-12-10(生田筋) スーパーステーション
ランダムハウス45rpm 虎達場 楽珍
エスカイアクラブ

スタンドかてな
中央区中山手通1-7-10 英健ビル1F ☎ 331-1316

KOBE うまいもん& ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



A HAPPY WEDDING



喜びも悲しみも永遠に分ち合いたい
早瀬 初身・俊子さん夫妻

(昭和58年9月10日挙式
於・阪神平安閣)

2人の出会いは、3年前初身さんが勤務する尼崎郵便局で。アルバイトに来た俊子さんに、彼は一目惚れ。彼女の両親の了解を得るため、はるばる彼女の故郷“沖之永良部島”まで説得にも出かけたとか。見事に熱意が実り、晴れてゴールイン。ハネムーンは雄大な自然に囲まれた北海道へと旅立つて行きました。

総合結婚式場



平安閣

神戸／神戸市兵庫区新開地3丁目2-15

☎ (078) 351-3390

阪神／尼崎市昭和通5丁目182

☎ (06) 413-3303(代)

KOBE
HEIANKAKU



HANSHIN
HEIANKAKU





トアロード・大丸前 **331-1309**
 菊地辰幸による裸婦デッサン画。ラ
 イフ・アッショーンには、アートの小道
 具が欠かせません。

・画材・額縁

末積製額



国鉄梅田店 **06-312-9790**
 9月17日より、大阪梅田店が新装オ
 ーブン。メルヘンムードがプラスされ、
 より楽しい時が過ごせます。

カスカード

・本格的なパンの店

神戸国際会館3F **231-3575**
 冬物紳士服シリーズ到来。スキヤバ
 ル・ダンビルなどハイセンスの品物を
 捩えてあります。(仕立て券服地を御進物に)

アダムG(岡田巖)

・オーダーメイド・紳士服



セントラル街2丁目 **331-4358**
 まだ、これからのおしゃれのブランド
 ド・マツクデイビットは、サンジエル
 ルが選んだ逸品。お洒落な秋にぜひ。

・ブティック

サンジエル

McDavid



SHOPPING

ART in KOBE

クリエイティブな美しさを求める秋

11月24木25金、日本文化デザイン会議'83神戸が開催されます。



ガーデニア

くつろぎのカフェ

中央区三宮町1大和ビル

392-4004

おかげさまで12月で4周年を迎える
ことになりました。ヨーグルトケーキ
など、手造りのお菓子類は好評です。



デリカテツセン

世界の食料品

中央区北長狭通26-5

331-6535

神戸の街並に似合う「粋」なお店。お料理が思わず楽しくなる「味」が、店内に広がっています。



COOL

ベル根

兵庫区荒田町1・淡川商店街 511-2329
ワールドの新ブランド・ミルクメリーキ
ショップとして8月8日オープン。1
~4歳までのファッショングリーン

ベビーアウトドア